

「自然の家に来てみんなね！」  
～時津町教育支援センター「ひだまり」連携事業～

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家  
〔期日〕 令和5年11月28日(火) 10:30～14:30 日帰り  
〔会場〕 国立諫早青少年自然の家  
〔参加者〕 児童・生徒 5名 指導者 2名  
〔協力〕 時津町教育支援センター「ひだまり」  
〔担当職員〕 小野 栄策、中里 文彦、小柳 響生

1)趣旨

自然の家での様々な体験活動を通して、不登校、引きこもりなどの課題を抱える青少年に自然体験活動の楽しさや達成感を感じさせ、自己肯定感や自己有用感を高めます。また、他者との交流や自然の家での規則正しい生活を通して、基本的な生活習慣づくりのきっかけとします。

2)SDGsで目指す姿

		目標4 質の高い教育をみんなに 自然体験活動を通して、リラクゼーションを図り、今後の生活の質の向上を図る。 目標16 平和と公正をすべての人に 個人の意思決定を重んじ、様々な実態に応じて、学ぶ機会を提供する。
---	---	---

3)目標

- ①活動を楽しもう。
- ②友達やスタッフとたくさん話をしよう。
- ③安全に気をつけて行動しよう。

4)プログラム

1日目
送迎(支援センター～自然の家)
10:30 開講式
10:50 焼き芋づくり【写真①】
11:00 薪割り・火起こし体験【写真②】
12:00 昼食
13:00 焚火を囲んで団欒タイム【写真③】
13:20 レクリエーション【写真④】
14:10 閉講式
送迎(自然の家～支援センター)

## 5)事業展開

### ①焼き芋づくり



支援センターで収穫した芋を持ち寄って、焼き芋を作った。焼きあがった芋を美味しく食べていた。

### ③焚火を囲んで団欒タイム



活動場所にテントを張り、焚き火台を囲んでお弁当を食べた。ここでの雰囲気作りが功を奏し、将来の夢の話など、会話がはずんでいた。

### ②薪割り・火起こし体験



鉈を使っでの薪割りとファイヤースターターを使用した火起こしを体験した。火が着いた時の感動を味わっていた。

### ④レクリエーション



みんなで協力する活動として、パイプラインとキャッチングザスティックを行った。失敗しても何度も挑戦する姿が見られた。

## 6)評価

### ①アンケート結果(事業全体に対する満足度)

満足	やや満足	やや不満	不満
100%	0%	0%	0%

### ②参加者の声

- ・普段できないようなことができたり、みんなと協力して活動したりすることが楽しかったです。
- ・自然の家は本当に良い場所です。少し黙って自然の音を聞くこともいいですね。心が落ち着きます。
- ・山での体験、デイキャンプ、いろいろなゲームをしたいです。職員のみなさんと仲良くなりたいです。

## 7)成果と課題

### ①成果

- ・支援センターで見る子供たちの姿と自然の家で見る子供たちの姿は違っていった。自然な笑顔をたくさん見ることができた。みんなとの思い出が少ない不登校の子供たちにとって、貴重な思い出づくりができた。
- ・支援センターで作った芋を自然の家で焼くことによって、来所するきっかけづくりや、行事や活動の関連を図ることが出来た。

### ②課題

- ・不登校の情報を事前に聞き取りし、個別の指導に生かす必要がある。